

令和2年度
「鹿児島県地域両立支援推進チーム会議」
会議概要

1 開催日時及び開催場所

- (1) 日時 令和2年9月11日（金） 午後2時30分～午後4時10分
- (2) 開催場所 かがしま県民交流センター大ホール

2 参集団体（順不同）

鹿児島県経営者協会 公益社団法人鹿児島県労働基準協会 日本労働組合総連合会鹿児島県連合会 鹿児島県くらし保健福祉部 公益社団法人鹿児島県医師会 鹿児島県薬剤師会 国立大学法人鹿児島大学鹿児島大学病院 独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター 公益財団法人鹿児島県民総合保健センター 鹿児島県社会保険労務士会 日本労働安全衛生コンサルタント会鹿児島支部 日本医療社会福祉協会 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 日本キャリア開発協会 若年性認知症支援コーディネーター 公益社団法人鹿児島県看護協会 独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター 鹿児島労働局（職業安定部職業対策課、同職業安定課、雇用環境・均等室） 事務局（鹿児島労働局労働基準部健康安全課）

3 主な議題

- (1) 労働局説明
- (2) 意見交換
 - ① 好事例の収集について
 - ② 新型コロナウイルス禍における治療と仕事の両立支援に関する留意事項等について
 - ③ その他

4 会議概要

座長として独立行政法人労働者健康安全機構鹿児島産業保健総合支援センター所長を選任し、以下の議事を進行した。

- (1) 労働局説明

- ① 事務局より、
 - ア 令和元年度鹿児島治療と仕事の両立支援セミナー結果
 - イ 令和2年度治療と仕事の両立支援セミナー概要
 - ウ リーフレットの更新について説明を行った。
- ② 職業安定部職業安定課より、長期療養者就職支援事業について説明を行った。

(2) 意見交換

① 好事例の収集につて

令和2年度治療と仕事の両立支援セミナーへの登壇候補事業場の選定について、事務局案に基づき2020年健康経営優良企業認定事業場の中から選定していくこととなった。

② 新型コロナウイルス禍における治療と仕事の両立支援に関する留意事項等について

新型コロナウイルスについてはまだ分からないことが多いので、対応は慎重にならざるを得ない。

支援を受ける患者である労働者は高いリスクを背負っている。免疫力が低下していることにより、重症化しやすい例もある。事業場においては、新型コロナウイルスにより疾病が悪化することもあるという認識を持っていただくことにより、症状等に応じた工夫をしながら患者である労働者を守っていけるのではないかと。

③ その他（フリートキングによる意見交換。順不同。）

- ・ 医療現場、事業場とは別に患者（労働者）が気軽に相談できる場として保険薬局の活用を推進している。両立支援カードをカウンターに配置し、配布している。治療には薬が必要であり、患者（労働者）も気軽に話しやすい雰囲気があるので、両立支援の相談にも応じられる。
- ・ 両立支援は浸透はしてきている。がんの早期発見に努めて、すべて復職させている企業もある。
- ・ 若年性認知症にり患したが、企業の協力を得て、定年までの3年間で勤め上げた例もある。企業の体制も大事であるが、現場で患者（労働者）に寄り添ってサポートしてくれる職員がいることも大事である。

- ・ (医療現場での声として) 両立支援という言葉が専門的であるので分かりやすく表現できないか。何らかの形で件数等を数値化する、テレビ・ラジオ等を通じた周知等、今後、両立支援を浸透させていくための工夫も検討したらどうか。
- ・ 新型コロナウイルス対策として、がん対策相談センターにおいてオンライン面会ができるようにした。
- ・ 濃厚接触者になり2週間の休業をさせる場合、法的には休業手当が必要であるが、それと同等以上の特別休暇等の制度があれば当該特別休暇を活用してもよい。労働者の同意が得られれば年次有給休暇で処理する場合もある。結局、福利厚生の良い事業場へ労働者が流れていく傾向にある。
- ・ 産業医への両立支援に関する相談を活発化するためには、匿名での相談、書面による相談も可能であれば、相談しやすいのではないか。
- ・ (鹿児島産業保健総合支援センターより)「両立支援コーディネーター基礎研修」「両立支援相談窓口の案内」「令和元年度治療と仕事の両立支援に関するアンケート結果」について説明があった。